



石田学長講演

ふるさと文化の確立を

シティカレッジで石田学長講義

石田寛人金沢学院大学・シティカレッジ講座「石川県のふるさと文化の確立」は五月二十八日、いしかわシティカレッジで石田学長講義を行いました。石田学長は、「文科系の総合大学としてふるさと文化の確立に貢献し、存在感のある金沢、石川、北陸づくりに大きな役割を果たしたい」と、本学の使命を説明しました。また、八年後の北

陸新幹線開業に伴って予想される「ストロー現象」に対抗するため、現在の地域の取り組みが重要になると強調しました。

科学技術庁事務次官を務めた経験と古典文学の素養に基づいて、講義の内容はバラエティーに富み、本学が六十年目の改革にあたって掲げた「諸行無常」や、建学の精神「愛と理性」の言葉の解説、さらに漢詩、俳句の構成から人工衛星打ち上げにも触れました。



総文・総文の壮行会で選手を激励する石田校長

二十五日、高校体育館で行われました。石田校長が「東高校の一員として、自分自身のため、励ましてくれる家族のために頑張ってください」と激励しました。

学院チーム31位
金沢城リレーマラソン
四月二十四日に金沢城公園で行われた「第四回利家とまつ 金沢城リレーマラソン」に金沢学院教職員チームが出場しました。完走タイムは3時間24分55秒で、職場部門で31位に入りました。

参加者は次の皆さん。(1) 周目のリレー順)
川畑松晴、島崎外志夫、

発行・広報室

細川亮弥、奥井伸吾、村尾直仁、ゴードン・ペイトン、長尾準一郎、竹内和恵、中西勤、福井尊一、望月弘甲ひとみ、山上慈明、望月ゆかり、高橋征司



走り出した選手と応援の皆さん



金沢東高チームに大きな声援を送る生徒
県卯辰山相撲場

金沢東、8強目前の惜敗

高校相撲金沢大会



決勝トーナメントの岡山理大附戦で攻める山本(左)

第八十九回高校相撲金沢大会は五月二十九日、金沢市の県卯辰山相撲場で開催され、出場した金沢学院東高校チームは、準々決勝目前の決勝トーナメント2回戦で、準優勝の埼玉栄に惜しくも敗れました。個人戦でも三選手とも16強にとどまりました。

個人 3選手とも8強の壁

スタンドでは予選三回戦終了まで一般生徒、決勝トーナメント以降は入れ替わって運動部の生徒が声を張り上げて応援しました。

応援席が隣接している金沢市立工業とは地元勢同士として、互いの選手を一緒に応援する場面もあり、熱戦を一層盛り上げました。



榎木さん優勝
創立記念第五回理事長杯争奪ゴルフ大会は五月十五日



上山副理事長による始球式
= 山代山中ゴルフ場

日、加賀市の片山津ゴルフ倶楽部山代山中ゴルフ場で行われました。教職員二十一人が参加し、熱戦を繰り上げました。

ダブルペリア方式で順位を競った結果、榎木勲学務部長が優勝し、二位は高屋喜久子助教、三位は吉村一伸学務部長補佐でした。ベスト6は、榎木部長と岩井庸之助教でした。